

非常持出品・非常備蓄品について

公的な支援物資は、発災からすぐに届かないかもしれません。コンビニなどのお店にも人が殺到し、すぐに商品が無くなるかもしれません。そのため、ご家庭で非常食などの防災グッズを備える事はとても重要です。

非常持出品

非常持出品は、避難するときに持ち出すものです。持って運べるだけの必要最低限にし、リュックサックなど両手が使える袋に入れましょう。

貴重品

- ☐ 身分証明書
- ☐ 健康保険証
- ☐ 印鑑 ☐ 通帳
- ☐ 現金（小銭を含む）



小物道具類

- ☐ 懐中電灯 ☐ ラジオ
- ☐ 電池
- ☐ 携帯電話、充電器



その他

- ☐ ティッシュ ☐ ウェットティッシュ ☐ タオル ☐ 軍手 ☐ 雨具、防寒着
- ☐ スリッパ ☐ レジャーシート ☐ 下着・上着などの着替え ☐ 筆記用具 ☐ 生理用品



医薬品類

- ☐ 常備薬 ☐ マスク
- ☐ おくすり手帳 ☐ 体温計



袋類

- ☐ ゴミ袋、レジ袋
- ☐ チャック付きビニール袋

水・食料など

- ☐ 飲料水 ☐ 非常食



重さの目安
男性 15kg
女性 10kg



非常備蓄品

非常備蓄品は、災害直後から混乱が収まるまでに必要なものです。最低3日間分、できれば1週間分の備蓄をしておきましょう。

- 飲料水、生活用水
- 非常用給水袋
- 携帯トイレ
- 非常食（アルファ米、レトルト食品など）
- 携帯コンロ、ガスボンベ
- ラップ、アルミホイル
- 衛生用品
- 雨具
- 使い捨てカイロ
- 予備電池



ローリングストック法を！

「非常時には非常食を」と思っていませんか？

非常時に食べるものは必ずしも非常食ではなく、日常食べているもので足りる。例えば缶詰やカップラーメン、レトルト食品などです。

こういったものを普段の買い物のときに少し多めに買い置きし、日々使いながら減った分をまた買い足すことで、特別な準備や出費をせずに備蓄することができます。



洪水 土砂災害 高潮



情報収集！

避難の判断！



加古川市

総合防災マップ

まず身を守る！

高いところへ避難！



保存版



地震 液状化 津波



このマップの目的

「加古川市総合防災マップ」は、市で起こり得る災害とその被害の想定を地図に示した「ハザードマップ」です。もしもの時に少しでも被害を軽減するために、市民の皆さんは、想定される災害と被害を知り、対策を考え、実際にできることから取り組んでください。

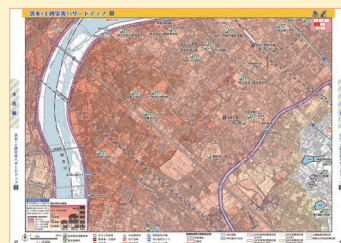
1 知る

「加古川市総合防災マップ」は、市で想定している被害の規模や範囲を、地図で示しています。まずは、自分の家や学校、勤務先などにどのような災害と被害が想定されているかを知りましょう。



2 考える

想定される災害と被害を元に、いざという時に何をしなければならないのか考えてみましょう。総合防災マップに記載されている災害時に発表される情報や、とるべき行動、心得などを参考にしてください。



3 備える

災害に対応するには、日ごろの備えが重要です。災害が発生する前から防災対策に取り組み、いざという時に備えましょう。



目次

はじめに 1

水害編

大雨・洪水について.....	5
土砂災害について.....	11
高潮について.....	15
水害時の避難行動を考えよう.....	17
水害時に役立つ情報・心得.....	19
ハザードマップの見方.....	29
索引図.....	31
洪水・土砂災害ハザードマップ.....	33

地震編

海溝型地震ハザードマップ.....	61
内陸活断層型地震ハザードマップ.....	63
液状化ハザードマップ.....	65
津波ハザードマップ.....	67
地震時に役に立つ情報・心得.....	69

備えと対策

自宅における備え.....	73
地域での防災活動.....	75
指定緊急避難場所、指定避難所一覧.....	77
事前情報.....	79
防災メモの使い方.....	81
防災家族会議.....	84

加古川市総合防災マップの使い方

① 家の位置を確認しましょう。

あなたの家の場所をマップに書き込みましょう。



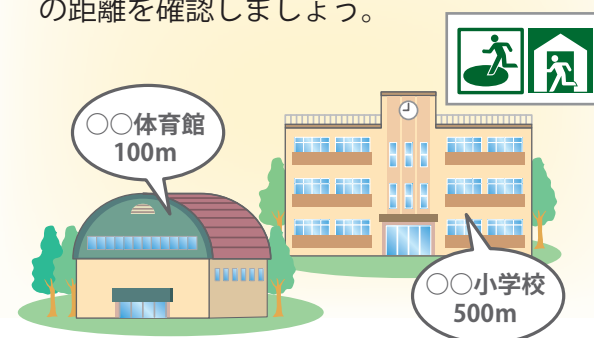
② 家の周りの災害の危険性を確認しましょう。

あなたの家は浸水が想定されている区域ですか？
土砂災害の警戒が必要な区域ですか？



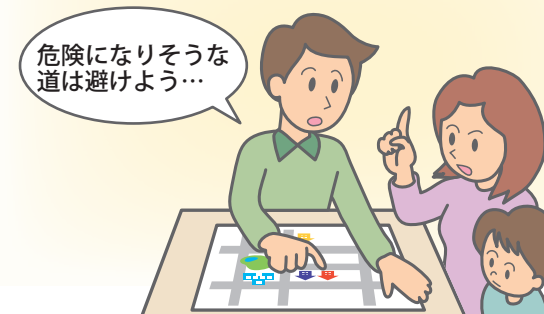
③ 避難場所を確認しましょう。

最寄りの避難場所や次に近い避難場所までの距離を確認しましょう。



④ 避難経路を考えてみましょう。

災害の危険性や狭い道路を避け、安全な避難経路を確認しましょう。



⑤ 実際に避難場所まで歩いてみましょう。

地図で選択した避難経路が安全かどうか、その他の避難経路についても確認しましょう。



⑥ 災害や避難について、話し合ってみましょう。

あなたの家だけでなく、家族の職場やよく行く場所などについても避難場所や危険性を確認しましょう。



ハザードマップはあくまでも想定図です。雨の降り方や土地の状態によっては、地図に示された区域以外でも洪水や土砂災害が発生することがありますので、十分に注意してください。想定と異なる状況になっても、ハザードマップを活用して事前に災害や避難についてイメージすることができれば、いざというときに慌てずに行動することができます。



市で発生が想定される災害

市では、台風や大雨によって洪水（河川氾濫）・土砂災害・高潮の被害が、地震によって揺れ・液状化・津波の被害が想定されています。

自分の家などでどのような災害が想定されているかは、各災害の詳細をご確認ください。

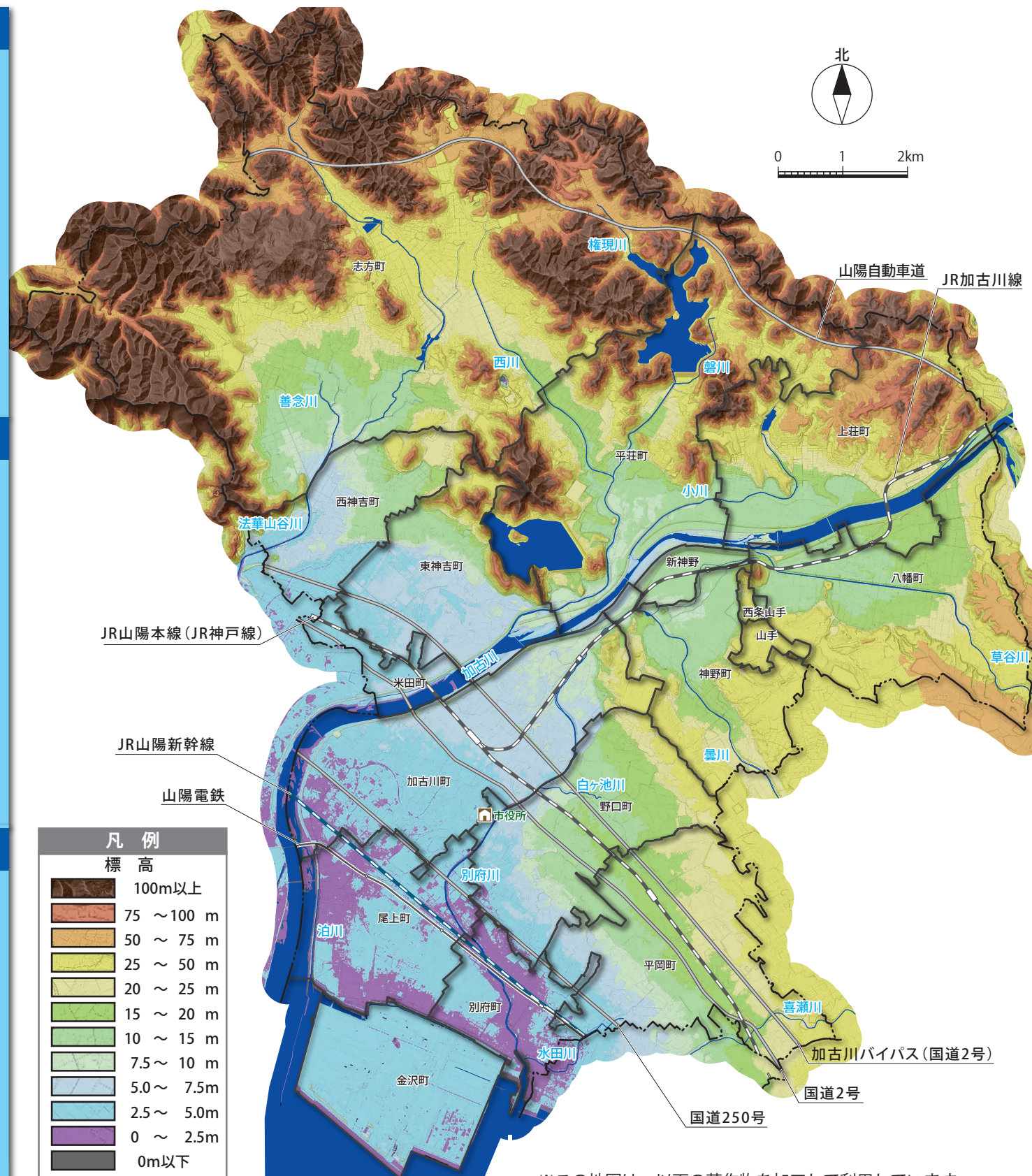
下のマップは、市内の土地の高さを示した標高マップです。市内の高い場所や低い場所を知り、避難時の参考にしましょう。

洪水（河川氾濫）  **P5へ**

土砂災害  **P11へ**

水害編

高潮  **P15へ**



※この地図は、以下の著作物を加工して利用しています。
[兵庫県_全域 DEM (2010 年度～ 2018 年度)]、[兵庫県]

地震（揺れによる建物倒壊など）  **P61へ**

液状化  **P65へ**

津波  **P67へ**

地震編